

利便性の比較検討

H23. 12. 13 小暮

1. 目的

新庁舎位置と利便性の比較検討を行う。
比較場所は、現本庁舎、文化会館北、どまんなか田沼位置とする。

2. 検討条件

- (1) 人口は、H23年4月の県議選人口が選挙区に集中しているものとする。
- (2) 庁舎場所と選挙区との距離、時間は、カーナビシステム^①を利用する。
(① :SKジャパン(株)、ナビ7型)
- (3) 庁舎の利用状況は、下野市の調査結果^②を参考にした。
(② : 下野市庁舎建設基本計画(案))
 - ・年間庁舎利用回数は、1回が17%、2~3回が41%、4~6回が19%より、平均2.79回とする。
 - ・一般業務が68%(戸籍、住民票、印鑑証明書が39%、国保、年金が16%、健康、福祉が13%)、残り32%が本庁舎業務とする。
 - ・現本庁舎利用者外の市民の距離・時間は、7箇所の支所により、どまんなか田沼への1/3と仮定。

3. 調査結果

- (1) 投票所と庁舎間との、距離および車による所要時間を、表1に示す。纏めを表3(①)に示す。
- (2) 人口分布を考慮した、距離および車による所要時間を、表2に示す。纏めを表3(②)に示す。
- (3) 現本庁舎利用者は、投票区1~26地区、29地区と仮定する。
- (4) 利用回数、一般業務比率を決めた時の、3庁舎場所の距離、時間の比較を表3(⑤)に示す。
- (5) 現庁舎後に一般業務を行う支所を設けたときの、3庁舎場所の距離、時間の比較を表3(⑥)に示す。

表3. 利便性の比較表

条件	現本庁舎		文化会館北		どまんなか田沼	
	距離(km)	時間(分)	距離(km)	時間(分)	距離(km)	時間(分)
① 各地点と庁舎間の間隔	733	1,584	769	1,467	623	1,236
	100	100	105	93	85	78
② 各地点と庁舎間の間隔(人口考慮)	574,031	1,321,396	625,171	1,227,930	544,535	1,114,744
	100	100	109	93	95	84
③ 現本庁舎利用者の間隔(人口考慮) (1~26地区、29地区)	145,338	347,964	161,118	352,274	262,847	529,219
	100	100	111	101	181	152
Ⅲ 現本庁舎利用者外の間隔(人口考慮) (1~26地区、29地区以外)	142,898	324,477	154,684	291,885	93,896	195,175
	100	100	108	90	66	60
④ 現本庁舎利用者の一般業務 (③*0.68)	98,830	236,616	109,560	239,546	178,736	359,869
	100	100	111	101	181	152
Ⅳ 現本庁舎利用者外一般業務 (Ⅲ*0.68)	97,170	220,645	105,185	198,482	63,849	132,719
	100	100	108	90	66	60
⑤ (回数、内容)を推定した時の間隔 (②*0.32+③*0.68+ためまのⅣ)*2*2.79	1,932,738	4,420,371	2,083,929	4,269,832	2,325,946	4,739,127
	100	100	108	97	120	107
有 (②*0.32+佐④+ためまⅣ)*2*2.79	1,932,738	4,420,371	2,024,054	4,253,478	1,880,070	4,051,374
	100	100	105	96	97	92
⑦ 現本庁舎利用者の一般業務 (③*A)	72,669	173,982	80,559	176,137	131,424	264,610
	100	100	111	101	181	152
Ⅶ 現本庁舎利用者外一般業務 (Ⅲ*A)	71,449	162,239	77,342	145,943	46,948	97,588
	100	100	108	90	66	60
⑧ (回数、内容)を推定した時の間隔 (②*(1-A)+③*A+ためまのⅦ)*2*2.79	2,269,008	5,202,053	2,455,715	4,953,307	2,514,565	5,131,195
	100	100	108	95	111	99
有 (②*(1-A)+佐⑦+ためまⅦ)*2*2.79	2,269,008	5,202,053	2,411,689	4,941,283	2,186,715	4,625,494
	100	100	106	95	96	89
一般業務 : A= 0.50						
	428,693	973,432	464,052	875,656	281,687	585,525
③ : 現本庁舎外市民の距離・時間は、支所でこの値分の一と仮定する						
	142,898	324,477	154,684	291,885	93,896	195,175

- ① 各地店と庁舎間の間隔で比較すると、文化会館北が105%(時間93%)、どまんなか田沼が85%(時間78%)となる。
- ② 人口分布を考慮して比較すると、文化会館北が109%(時間93%)、どまんなか田沼が95%(時間84%)となる。
(市民全員が、3地区に来ると考えたときであり、計画では一般業務は残される。)
- ③ 現本庁舎利用者だけを見ると(1~26地区、29地区)、文化会館北が111%(時間101%)、どまんなか田沼が181%(時間152%)となる。
(現本庁舎利用者の利便性が、大きく低下する。)
- ④ ここでは、現本庁舎利用者の一般業務割合を68%とし考える。
(32%の業務が一つの新庁舎のみで行われることになる。)
- ⑤ 現庁舎を無くし、一般業務を68%、本庁舎業務を32%と仮定すると、文化会館北が107%(時間97%)、どまんなか田沼が119%(時間107%)となる。
(文化会館北は約2,500時間の利便性が見られ、時給1,000円とすると、250万円/年の効果となる。)
- ⑥ 現本庁舎には一般業務を残すと、文化会館北が104%(時間97%)、どまんなか田沼が98%(時間92%)となる。
(文化会館北は時間に利便性が、どまんなか田沼は4距離と時間に利便性が見られる。)
- ⑦~⑨は、一般業務比率を50%と仮定した時の距離・時間の予測値。
(一般業務比率を増やし支所での業務内容を18%増すことで、市民の距離・時間は約10%減少する。)

4. 纏め

- (1) 利便性の評価には、人口分布、業務内容、業務量、道路の整備状況等が影響する。
したがって、それらの調査検討が必要である。
- (2) 現庁舎を移動すると、文化会館北は距離的利便性は無いが時間的利便性が見られ、どまんなか田沼は距離的と時間的な利便性が見られない。(⑤)
- (3) 現庁舎の後に、一般業務を処理する支所を置くと、どまんなか田沼は距離的と時間的な利便性がでてくる。(⑥)